

第6回篠路駅東口駅前広場の在り方検討会議を開催しました！



第6回目の「篠路駅東口駅前広場の在り方検討会議」を令和元年5月28日(火)、篠路出張所にて開催しました。

前号で、検討会議から札幌市に「提言書」が提出されたことをお知らせしましたが、札幌市が提言に基づく都市計画変更を踏まえて事業スケジュールを見直したところ、これまでの想定から約3年遅れることが判明しました。

「第6回検討会議」はその理由とスケジュール変更についてお知らせし、ご意見をいただくために開催したものです。

提言書、検討会議の詳しい内容、シノロナビのバックナンバーは札幌市ホームページで公開しています。ぜひご覧ください！

<http://www.city.sapporo.jp/toshi/kukaku/shinoro/shinoro.html>

事業スケジュール変更の理由と変更点について

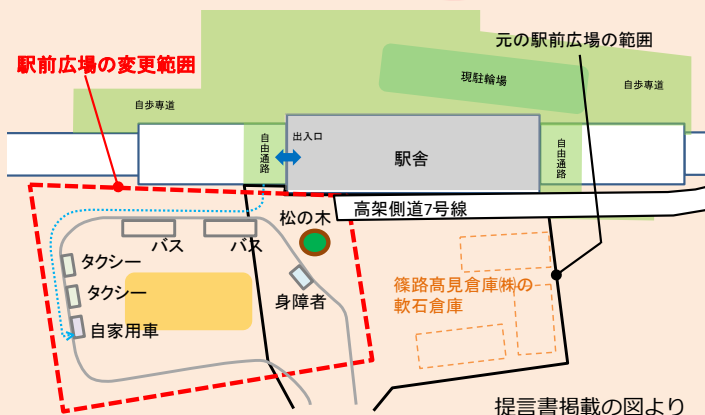
事業スケジュール変更の理由

提言書では「(駅前にある)軟石倉庫に影響を与えない位置で駅前広場の整備を進めていくことが、篠路のまちづくりを考えるうえで最もふさわしい」とうたわれました。

その提言を踏まえて、札幌市で都市計画変更の検討を進めたところ、土地区画整理事業や鉄道高架事業が将来にわたって篠路駅周辺地区のまちづくりに寄与し続けることを考慮すると、これらの事業は切り分けることはできず、一体的に検討する必要があるとの考えに至りました。

具体的には、以下の点について検討をする必要性があると考えています。

- ・土地区画整理事業地内の道路の配置・周辺の街区からの出入りを、より地権者の方の生活に配慮した設計とすること
- ・駅前広場から見た駅出入口の正面性や視認性を確保するため、駅舎の一部を変更すること



提言書掲載の図より

事業スケジュールの変更点

上で述べたように、土地区画整理事業と鉄道高架事業を一体的に検討する必要性が出てきました(駅前広場変更に伴う検討) (裏面の図①)。

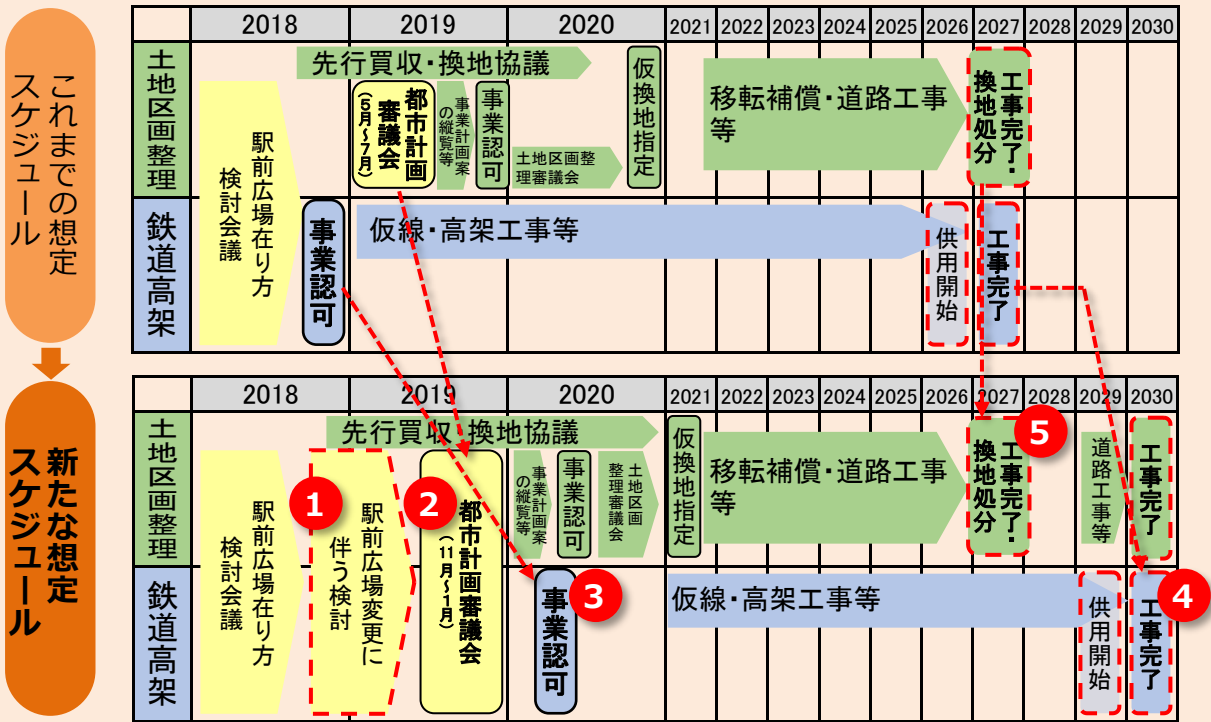
それにより、鉄道高架事業も都市計画変更することとし、都市計画審議会での審議を踏まえた都市計画決定は最も早くても2019年度末頃になると見込まれます。(②)

そのため、鉄道高架事業の事業認可は約2年間遅れ2020年度になります。(③)

また、事業用地が狭く工事の切り回しが難しくなるため仮線・高架工事等の工期が1年伸びます。これらにより、鉄道高架の工事完了は当初の想定より3年遅い2030年度となる見込みです。(④)

ただし、土地区画整理事業については、精一杯努力・工夫をして、工事完了・換地処分の時期に影響がないよう努めてまいりたいと思います。(⑤)

<事業スケジュールの変更>



札幌市からの説明を踏まえ、第6回検討会議ではさまざまなご意見が出されました。それらを元に、検討会議から付帯意見が提出されました。要約をご紹介します。

提言書への付帯意見

篠路駅東口駅前広場の在り方検討会議 委員一同

検討会議としては、事業スケジュールに影響が生じることとなっても、提言書で示した篠路駅東口駅前広場整備案による整備を望みます。整備の推進にあたっては、特に次の点に留意してください。

- (1) 事業の早期実現・早期完了に向けて、引き続き努力してください。
- (2) 設計や工事の進捗に合わせて、地域住民への情報提供や意見収集の機会を設けてください。
- (3) 篠路駅周辺地区が地域交流拠点にふさわしいまちとなるよう、にぎわいづくりのできる駅周辺の整備やまちづくりを進めてください。

検討会議では、次のような意見も出されました。

遅れることによる時間を、地域のために広場と駅がより良い相乗効果を発揮するための検討に活用してほしい。



広い意味で「使いやすい」広場・駅になるように、バリアフリーや乗り継ぎの利便性などにも配慮してほしい。



横新道の渋滞は地域の大きな問題。高架化だけではなく、道路拡幅にもできる部分から取り組んでほしい。



7～8月に地元の皆様に対する「地元説明会」を行う予定です。回覧板等でお知らせいたしますので、ぜひご参加ください。



■お問い合わせ先

札幌市まちづくり政策局都市計画部事業推進課 担当：瀬能・若林
 〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎4階
 TEL 011-211-2706 FAX 011-218-5113
 MAIL jigyouusuishin-kei@city.sapporo.jp

メールアドレスはQRコードから読み取れます→

